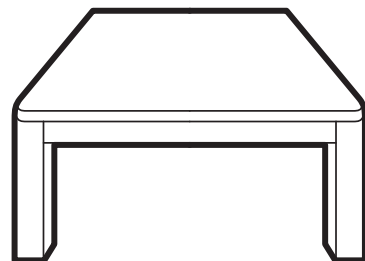


コイズミ家具調コタツ

取扱説明書

(保証書別途添付)



このたびはコイズミ家具調コタツをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

型番

KTR-3456




もくじ

| | |
|--------------------|-----|
| 安全上のご注意 | 1～3 |
| 注意していただきたいこと | 4 |
| 知っておいただきたいこと | 4 |
| 付属品を確認する | 5 |
| 設置場所に関する注意 | 5 |
| コタツを組み立てる | 6 |
| コタツとして使う | 7 |
| つぎ脚について | 8 |
| ヒーターユニットについて | 8 |
| テーブルとして使う | 9 |
| 仕様 | 9 |
| お手入れのしかた | 10 |
| 点検・修理を販売店に依頼する場合 | 10 |
| アフターサービスについて | 11 |
| お客様の個人情報のお取り扱いについて | 11 |
| お客様相談窓口 | 11 |

安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。



表示と意味は次のようになっています。

| | |
|--|---------------------------------------|
|  危険 | 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う危険性がきわめて高いもの |
|  警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの |
|  注意 | 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの |






絵表示の例

| | | | |
|--|--|--|---|
|  は、してはけない 「禁止」の内容です |  一般的な禁止 |  分解禁止 |  水ぬれ禁止 |
|  は、必ず実行していただく 「強制」の内容です |  必ず行う |  電源プラグを抜く | |




*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

| | |
|---|--|
|  危険 | |
|  | ●低温やけどや脱水症状をおこすおそれあり。 次のような方がお使いのときは、特に注意する。 <ul style="list-style-type: none">●乳幼児・自分で温度調節のできない方・皮膚感覚の弱い方●お子様・お年寄り・ご病人●ねむけをさそう薬(睡眠薬・かぜ薬など)を服用された方●深酒をされた方・疲労の激しい方 |
| | 使用温度を低めにし、ときどき体を動かすなど使用状態に異常がないか、常に周囲の方が注意してください。 |
| | 40℃～60℃の比較的低い温度でも、皮膚の同じところを長時間暖めると、赤い斑点や水ぶくれができることがあります。これが低温やけどです。 ※万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。 |
| ●就寝用に使用しない。 低温やけどや熱中症(脱水症状など)のおそれがあります。 | |

⚠ 警告

| | | | |
|---|--|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●改造はしない。また、修理技術者以外の人には、分解したり修理を行わない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●タコ足配線はしない。 過熱や発火の原因となります。 ●必ず製品専用のヒーターユニットおよびコントローラー付電源コードを使用する。 感電・ショートの原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを傷付ける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねて使用する・コタツの脚に巻きつけて使用する・高温部に近づける・重い物や保温性のよい物をのせる・はさみ込むなどしない。 電源コードが損傷し、火災・感電の原因となります。 ●電源コードや電源プラグ、プラグ刃などが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因となります。 ●器具用プラグにピンやごみを付着させない。 感電・ショート・発火の原因となります。 ●内部やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常動作してけがをすることがあります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。 ●電源は、交流100Vコンセントを使用する。 火災・感電の原因となります。 ●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く。 火災の原因となります。 ●乳幼児が器具用プラグをなめないよう、周囲の方が注意する。 感電のおそれがあります。 |
|  | | | <ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。 |

⚠ 注意

| | | | |
|--|---|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火することがあります。 ●電源コードはコードフックに固定して使用する。 電源コードが傷むと火災・ショートの原因となります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●コントローラーをコタツの中に入れて使用したり、コントローラーの上にふとん等をかけるなど、温度の高い場所におかない。 保護回路が働き、電源ランプが消え、通電停止します。コントローラー内部の温度が下がると、自動的に電源ランプが点灯し、通電が再開されます。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●ファンヒーターから温風をダクトでコタツに送り込まない。 故障・過熱・火災の原因となります。 |

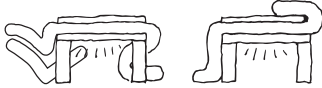
⚠ 注意

●使用中はヒーターユニットにふれない。
けがや、やけどの原因となります。

●脚をはずしたり、逆さにしたり、立てたりして、使用しない。
火災の原因となります。



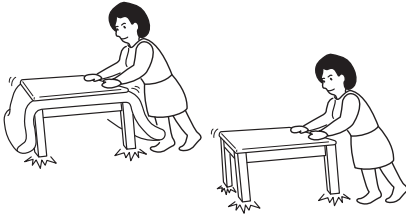
●ふとんや座イスをやぐらの中に押し込んだり、半開きの状態で使用しない。
火災の原因となります。



●座布団や衣類などを中に入れたり、洗濯物などを乾燥しない。
火災の原因となります。



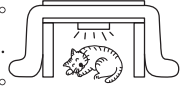
●移動の際は、床面を引きずったり、押したりしない。
床の傷や、脚の破損の原因となります。
ふとんのご使用でない場合も同様、移動の際は天板だけで持たずにやぐら(木枠)を持って移動してください。



●スプレー缶などを本体の中に入れない。
爆発や火災・やけどの原因となります。

●コントローラーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。

●ペットをコタツに入れない。
ペットがケガややけどをする恐れがあります。
電源コードや本体を傷つけ、感電・ショート・発火の原因になります。



●他の熱器具との併用はしない。
過熱・火災の原因となります。

●ヒーターユニットをはずして他の目的に使わない。
火災の原因となります。

●コントローラーを暖房器具の近くに置かない。
火災の原因となります。

●天板の上に乗らない。
けがの原因となります。



●ビニールクロスなどをテーブルに密着させて使用しない。
天板の塗装が傷んだり変色したりするおそれがあります。

●コントローラーに水やお茶をこぼさない。
万一こぼしたときは、過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。



●天板に熱いものを置かない。
お湯やお茶などをこぼさない。
変色のおそれがあります。

注意していただきたいこと

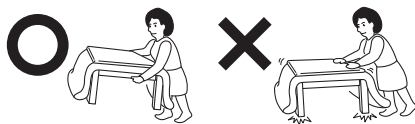
- ふとんや座イスをやぐらの中に押し込んだり、半開きの状態で使用しない。

火災の原因となります。



- 移動する時に必ず木枠部分を持って、持ち上げて移動してください。

天板だけをもって持ち上げないでください。



知っておいていただきたいこと

低温やけどについて

普通はやけどは、火や熱湯等の高温なものに皮膚が触れておこりますが、40℃～60℃の比較的低い温度においても皮膚の同じところを長時間暖めていると赤い斑点や水ぶくれができることがあります。これが低温やけどです。万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

- お部屋の温度が低いときや湿度が高いときに、ふとんの中の湿気が蒸発して、天板の裏面に水滴が付くことがあります

その場合は、タオルなどで拭き取ってください。

結露がひどい場合は次のような方法が効果的です。

- ふとんを十分に乾かす。
- 除湿機などで室内を乾燥させる。
- 天板とふとんの間に木綿のバスタオルなど吸湿のよい物を敷く。

- 初めてご使用になる場合のにおいについて

塗料のにおいがすることがありますが、ご使用とともに無くなります。

- 雑音防止について

ラジオ・ラジカセ・補聴器・電話・パソコンなどをテーブルの上やテーブルに近づけて使用すると雑音が入ることがあります。

テーブルおよびコントローラーから、必ず50cm以上離してご使用ください。

また、同一コンセントでのご使用はおさげください。

- 脚のゆるみにご注意ください

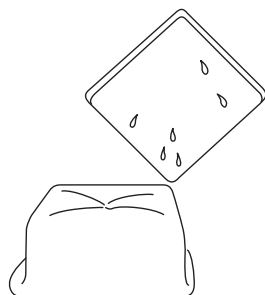
ご使用とともにゆるむ場合がありますので、ときどきご確認のうえ脚取付ボルトを十分に締め付けてください。モンキーレンチなどの工具を使用されますと、ネジ山がつぶれることがありますのでご注意ください。

- 天板について

熱いやかんなどを直接置いたり、食器の底などザラついたものでこすったり、強い衝撃を与えないでください。変色や傷の原因となります。

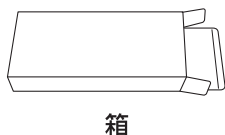
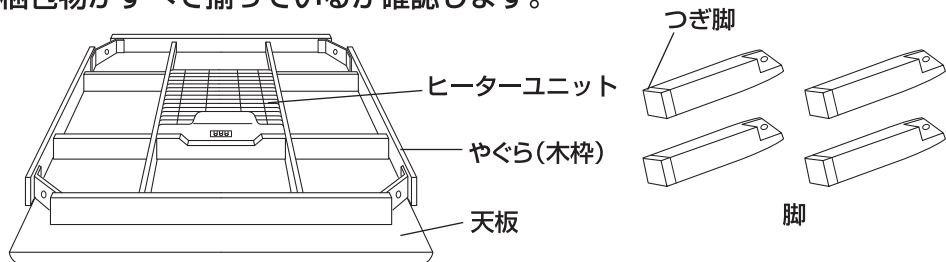
- 電源コードのお取り扱いについて

電源コードを踏んだり、引っ張ったりして電源コードの被覆に異常があれば、断線・ショートの原因になります。お買い上げの販売店に点検整備をご依頼ください。



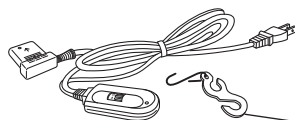
付属品を確認する

梱包物がすべて揃っているか確認します。



箱

コントローラー付電源コード

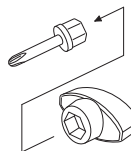


コードフック

- 箱の中に**組み立て用部品**、**コントローラー付電源コード**が入っています。

- 箱はやぐら(木枠)の内側に収納されています。

組み立て用部品



ドライバーピン
……………1本

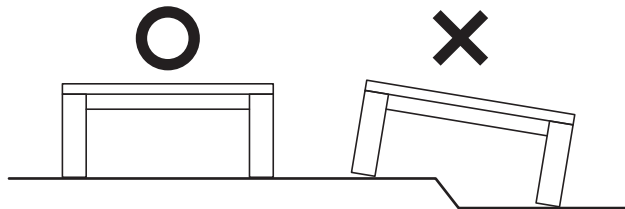
ドライバー
フォルダー…1個



脚取付ボルト
……………4本

設置場所に関する注意

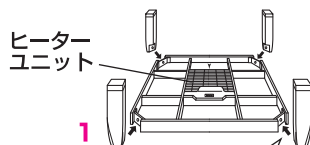
- 凹凸や段差のない安定した場所においてください。
傾いたりしていると故障や事故の原因となります。



- 敷物や床板が変色・変形することがあります。
コタツの下にカーペットなどを敷いてください。
- 熱に弱い敷物（ポリプロピレン・塩化ビニールなど）の上での使用のとき。
- 樹脂製床・フローリング・塗装した床面での使用のとき。

コタツを組み立てる

1. やぐらを、ヒーターユニット側を上向きにして置く
2. 脚をやぐらの枠にはめ込む

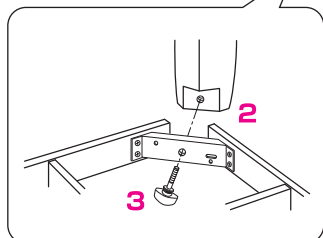


3. 脚取付ボルトで脚をやぐらにしっかり固定する

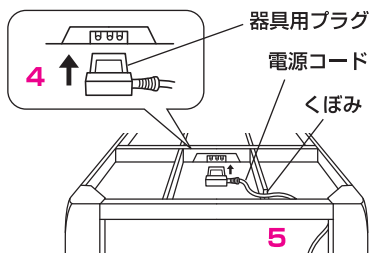
△注意

使用中も脚がゆるんでいないか時々点検してください。

ゆるんだまま使用すると、破損してけがをしたり、つぎ脚取付ボルトの頭で床を傷つけることがあります。



4. 器具用プラグを奥までしっかり差し込む
5. 枠のくぼみに電源コードをかける



6. コードフック掛けを穴に引っ掛けて固定する

△注意

電源コードがたるんだり、引っ張りすぎたりしないようコードフックの位置を調節してください。

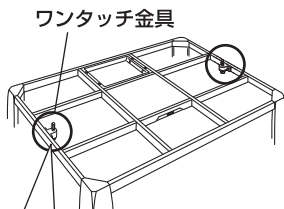
電源コードが傷むと、火災・感電の原因となります。



7. ①ワンタッチ金具のネジ頭を下にひっぱる
②90度ひねってロックする

お願い

ワンタッチ金具はコタツにふとんを掛ける前に収納してください。
金具が出たままだと、ふとんが破れてしまうことがあります。



ロックした状態

7-2 ↓ 7-1

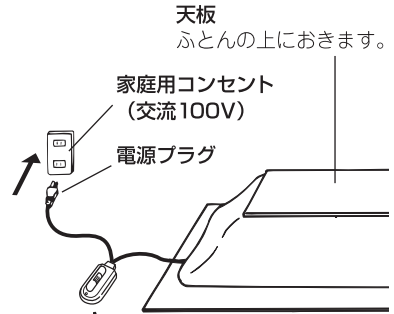
8. コタツ掛けふとんを掛け、天板のをせる

コタツとして使う

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

△注意

電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不十分だと、ショート・発熱・火災の原因となります。



2. コントローラーの温度調整ダイヤルを右に回して電源を入れる

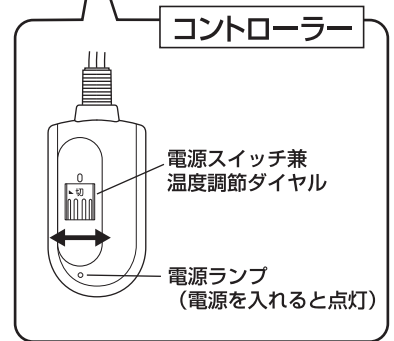
3. ダイヤルを回して温度を調整する

温度は7段階で調整できます。

切 ← 弱 ↔ ① ↔ ② ↔ ③ ↔ ④ ↔ ⑤ ↔ 強

△注意

- 内部の電子部品の温度上昇（約50℃）により、コントローラーが少し熱くなりますが、異常ではありません。
 - コントローラーをコタツの中に入れて使用したり、上にふとん等をかけたりしないでください。また、他の熱器具から離して使用してください。
- コントローラーの温度が上昇する原因となります。コントローラーの温度が高くなると保護回路が働き、電源が切れて電源ランプが消えます。温度が下がると、電源が入って電源ランプが点灯します。



ご使用後は

1. コントローラーの温度調整ダイヤルを左に回して電源スイッチを 切 にする
2. 電源プラグをコンセントから抜く

コタツふとん（市販品）について

コタツ掛けふとん

保温性のよいゆったりした寸法のものを使用し、やぐら全体に均等に掛けてください。

コタツ敷ふとん

床に熱が逃げるのを防ぎ、電気代の節約になります。

お願い

電気カーペット（コタツ使用可能タイプ）と併用する場合は、使用する電気カーペットの取扱説明書を必ず読んで正しく使用してください。

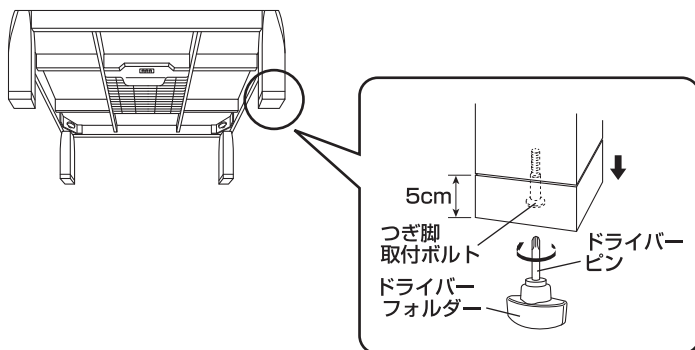
つぎ脚について

つぎ脚でコタツの高さを調整できます。
リビングテーブルとして使用するときや、座いすなどを併用するときは、つぎ脚をつけた状態が便利です。

※出荷時、つぎ脚は脚に取り付けられています。

■つぎ脚を脚から取り外す

ドライバーフォルダーにドライバーピンをセットしたものでつぎ脚取付ボルトをゆるめ、つぎ脚を取り外してください。



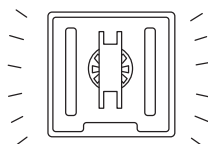
△注意

- つぎ脚を取り付けて使用する場合は、つぎ脚取付ボルトをしっかりと締めてください。また、使用中も脚がゆるんでいないか時々点検してください。ゆるんだまま使用すると、破損してけがをしたり、つぎ脚取付ボルトの頭で床を傷つけることがあります。
- モンキーレンチなどの工具を使用しないでください。ネジ山がつぶれることがあります。

ヒーターユニットについて

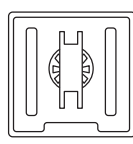
- ご使用中、ウォータヒーターが消えることがありますが、これは正常な温度制御動作を表わしているものです。
- ウォータヒーターの点灯、消灯に関係なくファンの回転数は一定です。
- ファンによる音がありますが異常ではありません。
- コントローラーの温度調節ダイヤルを「弱」方向に回すと、しばらくの間ウォータヒーターが消えることがあります。

ウォータヒーター <オンのとき>



点灯します。

<オフのとき>



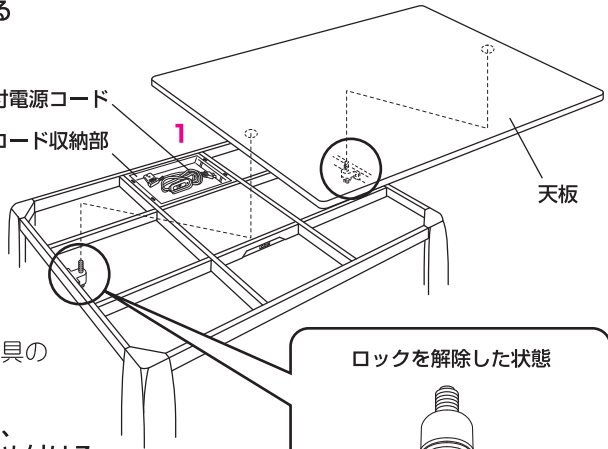
消灯します。

テーブルとして使う

1. コントローラー付き電源コードを収納する
2. ワンタッチ金具を90度ひねる

ネジが押し出されます。

コントローラー付電源コード
電源コード収納部



3. 天板をやぐらにセットする
天板のネジ穴とワンタッチ金具のネジの位置を合わせます。
4. ワンタッチ金具を右に回して、やぐらと天板をしっかりと締め付ける

ロックを解除した状態



注意

テーブルとして使うときは、下敷きなどを敷き、床面に傷がつかないようにしてください。

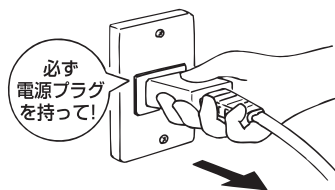
仕 様

| | |
|---------|-----------------------------------|
| ヒーター型式 | KHH-6150S |
| 定 格 | 交流100V—600W・50/60Hz |
| 発 熱 体 | クォーツヒーター（2本） |
| 温度過昇防止 | 温度ヒューズ（129℃） |
| 温 度 調 節 | コントローラー（電子制御）と感熱抵抗素子 |
| コ ー ド | 綿袋打コード・コントローラー（KRC-66）付（長さ3.2m） |
| 本体サイズ | 約120（W）×80（D）×37（H）cm（つぎ脚時の高さ：42） |
| 質 量 | 約22kg（天板のみ：約8kg） |

お手入れのしかた

お手入れの前に…

- 電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ヒーターユニットの掃除

- 保護網にゴミやホコリが付着したときは、掃除機で取り除いてください。
- 長年のご使用で内部にホコリが堆積した場合、焦げたにおいがすることがあります。内部の清掃をお買い上げの販売店にご依頼ください。（有料となります。）



■天板・やぐら・脚のお手入れ

- 塗装面の汚れは、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭きとるか、市販の家具クリーナーをご使用ください。仕上げに中性洗剤や家具クリーナーが残らないようから拭きしてください。
- お茶やみぞ汁などをこぼしたときは、乾かないうちにすばやく拭きとってください。

お願い

- シンナーや化学ぞうきんなどは、塗装面を変色させる原因となりますので絶対におやめください。
- 殺虫剤やヘアスプレーがかかると変色する場合があります。

点検・修理を販売店に依頼する場合

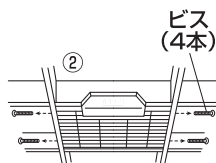
やぐらからコントローラー付電源コードとヒーターユニットを取り外し、合わせて販売店にご持参ください。

①コントローラー付電源コードについて

電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

②ヒーターユニットの取り外しかた

ヒーターユニット枠側面のビス4本を取り外してください。



愛情点検



ご使用の際このようなことはありませんか？

- スイッチを入れても、ときどき暖まらないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 通電中に異常な音や振動がある。
- 電源プラグ・電源コードなどが異常に熱い。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

1. 保証書

●保証書は別途添付されています。(保証対象部分：ヒーターユニット部)

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼される時

●保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証書の記載内容により無料修理いたします。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

●コタツ用ヒーターユニットの補修用性能部品の保有期間は製造切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 点検整備について

●数年使用されると、ヒーターユニット内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備(有料)をおすすめします。点検整備はお買い上げの販売店にご依頼ください。

●お客様ご自身での製品の分解は危険ですので、なさらないでください。

5. アフターサービスについてご不明の場合

●アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、下記の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わること相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水戸1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9:00～17:30
(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号